

0-14

ホルモン補充療法に抵抗を示す膝関節痛に対する ブタ・プラセンタエキスの併用効果

Efficacy of Porcine Placental Extracts as an Adjunctive Treatment to
Hormone Replacement Therapy for Women with Knee Pain

○小池 浩司¹⁾、山本 有希¹⁾、川端 克司²⁾、鈴木 信孝³⁾、杉浦 幸一⁴⁾、井上 正樹¹⁾

1) 金沢大学大学院医学系研究科 産婦人科学教室, 2) 特定非営利活動法人 代替医療科学研究センター
3) 金沢大学大学院医学系研究科 補完代替医療学講座, 4) 杉浦クリニック

The aim of this study was to assess whether oral porcine placental extracts (PPE) has an impact on patients with knee pain as an adjunctive therapy combined with hormone replacement therapy (HT). Treatment with PPE was significantly effective in reduction of the Visual Analog Scale score of knee pain at 4 weeks ($P < 0.05$), at 8 weeks ($P < 0.01$) and at 12 weeks ($P < 0.01$) compared with control group. The PEE treatment has no significant adverse effects. PEE is another possible option as an adjunctive oral supplement in case of HT-resistant long lasting knee pain.

【目的】

閉経後の膝関節痛にホルモン補充療法 (HRT) の有効性が報告されている。しかし HRT を行っても膝関節痛の軽減をみない症例や HRT 中に膝関節痛が出現する症例も少なくない。一方、ヒト胎盤抽出物の関節痛に対する有効性が報告されている。そこで HRT においても改善しない膝関節痛を訴える症例に対して、HRT にブタ・プラセンタエキスの経口投与を併用することで膝関節痛の改善をもたらすかどうかを検討した。

【方法】

HRT を 6 ヶ月以上施行しても、膝関節痛の軽減をみなかった閉経婦人を対象として、HRT に併用して、介入群 (N=22) ではブタ・プラセンタエキス (JBP ポーサイ 100) 9T/日を、一方対照群 (N=22) は乳酸カルシウム (260mg/日) をそれぞれ 12 週間投与し、投与前後で VAS スケールを用いて痛みの変化を比較検討した。評価は投与前から終了 4 週目まで 8 回施行し、副作用の出現の有無も調査した。

【結果】

ブタ・プラセンタエキスの投与により、膝関節痛は投与後 1 週目で対照群に比べて、有意な改善を認め ($P < 0.01$)、12 週まで時間依存的に持続的な痛みの有意な改善 ($P < 0.01$) が見られ、中止後 4 週間においてもその効果は持続した。また治療期間中に有害事象は認めなかった。

【結論】

HRT に抵抗を示す閉経後膝関節痛に対して HRT に併用してブタ・プラセンタエキスを併用投与すると、有意な膝関節痛の改善効果が期待できることが示唆された。